



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 山九株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中村 公大

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 酒井 宏道

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

TEL 03-3536-3939

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	400,654	△6.2	26,236	△13.6	26,752	△11.5	18,363	△5.1
2020年3月期第3四半期	427,027	△0.2	30,352	2.4	30,240	3.1	19,344	△6.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 18,392百万円 (△2.5%) 2020年3月期第3四半期 18,855百万円 (10.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	303.51	—
2020年3月期第3四半期	319.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	452,175	225,885	49.5
2020年3月期	434,052	214,204	48.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 223,900百万円 2020年3月期 211,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	50.00	105.00
2021年3月期	—	50.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当につきましては、本日(2021年1月29日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	531,000	△6.8	32,000	△20.7	32,500	△19.0	22,000	△14.1	363.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	65,215,606 株	2020年3月期	65,215,606 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	4,714,268 株	2020年3月期	4,713,443 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	60,501,782 株	2020年3月期3Q	60,503,577 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」および、本日(2021年1月29日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

「山九のユニーク」マーク



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響があり、回復ペースはバラついたものになりました。中国では、回復を牽引してきたインフラや不動産投資の増加ペースが緩やかになったものの、製造業投資や個人消費を中心に持ち直しの動きが活発になりました。米国では、個人消費の伸びが全体を牽引したことに加え、リモートワークに対応した住宅投資や企業のIT投資等、コロナ禍への適応需要が回復を主導しました。一方、欧州や新興国では、一部の地域で感染再拡大による回復の足踏みが見られました。国内経済では、国内外での需要回復を受け、自動車や生産用機械等に持ち直しの動きがあり、輸出の取扱いも増加基調が継続しました。

このような経済情勢の下、当社連結グループは、持続的発展のための健全な企業体質の強化を図り、人財の確保と育成に積極的に取り組み、グループの強みである動員力の維持・向上を図るとともに、お客様の動向・社会環境の変化に柔軟に対応できる体制を構築しております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は4,006億54百万円と前年同四半期比6.2%の減収、利益面においては、営業利益が262億36百万円と13.6%、経常利益は267億52百万円と11.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益は183億63百万円と5.1%の減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 物流事業

港湾事業では、新規航路獲得によるコンテナ取扱量の増加はあるものの、輸出取扱いの完全な回復には至らず、在来船荷役や梱包作業、船舶代理店取扱い等の作業減により減収となりました。国際物流では、海外のプロジェクト関連輸送の増加や航空貨物の緊急輸送等はありませんでしたが、コロナ禍影響による国内外での輸出入取扱い減少に加え、中東における化成品輸出作業が回復に至りませんでした。一般物流では、中国における倉庫・輸配送作業の回復は継続しましたが、コロナ禍影響による国内の事務所移転作業や製品・原材料輸送作業の減少等により減収減益となりました。構内作業では、当会計期間に入り国内のお客様の生産・操業度は若干上向きしましたが、前年同四半期比では回復に至らず、減収減益となりました。

売上高は1,988億96百万円と前年同四半期比7.8%の減収、セグメント利益（営業利益）は64億3百万円と前年同四半期比24.4%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は49.6%であります。

#### ② 機工事業

設備工事では、設備改修・据付、製造基盤整備等の工事案件はあるものの、前期から継続していた大型環境関連工事や国内外でのプラント建設工事が完工したことに加え、東南アジアで中断・延期となっている大型工事の多くが本格稼働に至っておらず、減収減益となりました。保全作業では、鉄鋼構内のお客様を中心に修理保全関係の工事が減少したものの、今年度は国内の石油・石化構内SDMが秋期もメジャーで、順調に推移したことから増収増益となりました。最終的には設備工事の減益影響が大きく、機工事業全体では減収減益となりました。

売上高は1,825億23百万円と前年同四半期比4.5%の減収、セグメント利益（営業利益）は183億49百万円と前年同四半期比9.2%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は45.6%であります。

#### ③ その他

道路・付帯設備の補修工事における収益性悪化や物流システム開発案件の減少等により、減収減益となりました。

売上高は192億34百万円と前年同四半期比5.3%の減収、セグメント利益（営業利益）は13億53百万円と前年同四半期比10.2%の減益となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.8%であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,381億42百万円であり、前連結会計年度末に比べ150億59百万円、6.8%増加しました。主な要因は、債権流動化の実行額を抑えたことによる受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

## (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,140億33百万円であり、前連結会計年度末に比べ30億63百万円、1.5%増加しました。主な要因は、設備投資による有形固定資産および無形固定資産の増加と、時価回復による投資有価証券の増加等によるものです。

## (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,391億62百万円であり、前連結会計年度末に比べ55億6百万円、3.8%減少しました。主な要因は、賞与および納税資金等の対応によるコマーシャル・ペーパーの増加と、社債の償還および作業量減少による支払手形及び買掛金の減少との差等によるものです。

## (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は871億27百万円であり、前連結会計年度末に比べ119億47百万円、15.9%増加しました。主な要因は、社債の発行による増加と長期借入金の減少との差等によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,258億85百万円であり、前連結会計年度末に比べ116億81百万円、5.5%増加しました。主な要因は、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加と為替換算調整勘定の減少との差等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を0.8ポイント上回る49.5%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、第3四半期までの収益の実態を精査し、足元の当社グループを取り巻く経済環境等を鑑みた上で、当初に公表(2020年10月30日公表)いたしました通期の業績予想値を修正し、売上高5,310億円、営業利益320億円、経常利益325億円、親会社株主に帰属する当期純利益220億円と予想しております。

## (通期 連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	526,600	30,000	30,000	20,000
今回発表予想(B)	531,000	32,000	32,500	22,000
増減額(B-A)	4,400	2,000	2,500	2,000
増減率(%)	0.8	6.7	8.3	10.0

## (参考 通期 個別業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	383,700	20,900	23,300	17,400
今回発表予想(B)	386,500	22,200	24,800	18,300
増減額(B-A)	2,800	1,300	1,500	900
増減率(%)	0.7	6.2	6.4	5.2

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	34,763	36,067
受取手形及び売掛金	174,525	185,415
有価証券	1,312	1,176
未成作業支出金	2,715	1,311
その他のたな卸資産	1,896	1,979
その他	8,088	12,402
貸倒引当金	△220	△211
流動資産合計	223,082	238,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	57,638	56,323
土地	60,834	60,166
その他（純額）	39,097	42,049
有形固定資産合計	157,570	158,539
無形固定資産		
のれん	1,845	1,431
その他	6,552	7,561
無形固定資産合計	8,397	8,993
投資その他の資産		
投資有価証券	18,386	20,600
その他	27,483	26,750
貸倒引当金	△868	△850
投資その他の資産合計	45,001	46,500
固定資産合計	210,969	214,033
資産合計	434,052	452,175

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,319	71,823
短期借入金	7,857	6,841
コマーシャル・ペーパー	—	15,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	6,095	4,733
未成作業受入金	2,363	1,098
賞与引当金	10,210	6,455
その他	30,822	33,209
流動負債合計	144,668	139,162
固定負債		
社債	10,000	25,000
長期借入金	14,045	10,931
退職給付に係る負債	30,966	31,483
その他	20,167	19,711
固定負債合計	75,179	87,127
負債合計	219,847	226,289
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,916	13,197
利益剰余金	179,378	191,691
自己株式	△8,769	△8,772
株主資本合計	212,145	224,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,250	5,786
繰延ヘッジ損益	△1	1
土地再評価差額金	△511	△511
為替換算調整勘定	△3,733	△6,315
退職給付に係る調整累計額	217	202
その他の包括利益累計額合計	△777	△836
非支配株主持分	2,836	1,985
純資産合計	214,204	225,885
負債純資産合計	434,052	452,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	427,027	400,654
売上原価	381,276	359,447
売上総利益	45,750	41,207
販売費及び一般管理費	15,398	14,970
営業利益	30,352	26,236
営業外収益		
受取利息	248	141
受取配当金	582	525
助成金収入	—	1,311
その他	717	817
営業外収益合計	1,549	2,796
営業外費用		
支払利息	531	451
為替差損	389	1,216
その他	740	611
営業外費用合計	1,661	2,279
経常利益	30,240	26,752
特別利益		
固定資産売却益	—	1,921
投資有価証券売却益	199	—
特別利益合計	199	1,921
特別損失		
投資有価証券評価損	1,123	714
特別損失合計	1,123	714
税金等調整前四半期純利益	29,316	27,960
法人税等	9,745	9,416
四半期純利益	19,571	18,543
非支配株主に帰属する四半期純利益	226	180
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,344	18,363



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	19,571	18,543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	753	2,535
繰延ヘッジ損益	9	3
為替換算調整勘定	△1,504	△2,685
退職給付に係る調整額	25	△3
その他の包括利益合計	△715	△150
四半期包括利益	18,855	18,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,646	18,304
非支配株主に係る四半期包括利益	209	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	215,620	191,089	406,709	20,317	427,027	—	427,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,628	3,248	6,877	7,510	14,388	△14,388	—
計	219,249	194,338	413,587	27,827	441,415	△14,388	427,027
セグメント利益	8,469	20,209	28,679	1,506	30,186	166	30,352

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額166百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	198,896	182,523	381,419	19,234	400,654	—	400,654
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,981	2,894	5,875	6,907	12,782	△12,782	—
計	201,877	185,417	387,295	26,141	413,437	△12,782	400,654
セグメント利益	6,403	18,349	24,752	1,353	26,105	130	26,236

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額130百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。